1月号 2024年1月22日発行 No.248

運営通信

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や経営・活動に関する情報をお伝えするためにお届けしています。

令和６年能登半島地震における対応について

11 住み続けられるまちづくりを

令和6年1月1日に、能登半島で最大震度7の地震が発生し甚大な被害が発生しました。県内でも氷見市、高岡市、小矢部市、射水市など県西部エリアを中心に負傷された方や家屋等の被害が発生しました。

この度の地震により被害を受けられた皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

とやま生協では、発災直後より職員の安否や施設状況の確認を行いました。職員全員の無事を確認し、施設に大きな破損はありませんでした。宅配・夕食宅配は予定通り1月8日より配送を行っていますが、避難等で受け取りができなかった組合員もいらっしゃいました。

災害支援としては、1月5日に日本生協連及び富山県生協連と連携し、富山県から要請のあった支援物資(みそ24kg、米200kg、ポリ袋・ゴミ袋など)を「氷見ふれあいスポーツセンター」へ納品しました。

また、コープいしかわへの支援として、1月15日から組合員の安否確認の電話がけ等を行っています。

◆緊急募金にご協力をお願いします◆

募金募集期間:**2024年2月16日(金)まで**

【宅配】 OCR注文用紙の6ケタ注文欄に、下記の「6ケタ番号」と「口数」をご記入ください。

募金注文番号:**375071** 募金1口 100円(非課税)

＊数量「1」で100円の募金となります。番号の書き間違いにご注意ください。
＊10口以上の場合は1マスの中に数字を入れてください。
＊一度に募金できる金額は9，900円(99口)までとなります。
それ以上を希望される場合は、翌週以降にご記入していただけますと幸いです。
＊eフレンズ(インターネット注文)でも受け付けています。

【店舗】 みなみ店(富山市堀川町206-5)で、1月5日から募金箱を設置しております。

◆CO・OP共済にご加入の皆さまへ◆

ケガにより、ご入院・ご通院をされた場合や、住宅や家財に被害があった場合、被害の程度により共済金等のお支払いができる場合がございます。詳細は、以下にご連絡ください。

・**コープ共済センター:0120-85-9431**(受付:月～土 9:00～18:00 ※年末年始を除く)

・**CO・OP火災共済にご加入の方:0120-6031-43**
・住宅損害:ご用件番号【0】:(24時間365日受付可能)
・現在のご契約に関するお問合せ:ご用件番号【1】:(受付:月～土 9:00～18:00 ※年末年始を除く)

【目次】

1、令和6年能登半島地震における対応について ・・・・・・・・・・・・・表紙
2、重点課題で取り組んだこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２
3、「SDGsアンケート」に答えてプレゼントをGETしよう！ ・・・・・・Ｐ２
4、理事会だより、経営実績報告、11月度事業別実績報告 ・・・・・・・Ｐ３
5、2023年度福島復興支援視察交流ツアーのご報告・・・・・・・・・・Ｐ４
6、CO・OP共済が「顧客満足度」３年連続の第１位となりました・・・・Ｐ４

とやま生活協同組合
https://www.toyama.coop/
富山市金屋555
フリーダイヤル
☎：0120-555-192
発行：経営企画Ｇ
とやませいきょう

重点課題で取り組んだこと

とやま生協では総代の皆さんと総代会で確認した方針に基づき、重点課題を設けて取り組んでいます。

食の安全・安心とくらしの安心(12月)

・県内の2つの産地を新たに産直産地として認定しました。

安全で安心な農・畜産物を産地・消費者が協同で作り上げ、農・畜産業における環境の向上と発展につなげること、また、産直活動を通して生産者と消費者の相互理解を深め、豊かな地域社会づくりに貢献することを目的に、基準を満たした県内の2つの産地を産直産地として認定しました。

◆とやまレインボーファーム
（富山県中新川郡立山町）

主な生産品：なす、ピーマン、白ねぎ、など

2023年8月4日「産直交流会」にて、産地訪問し生産者と交流を行いました。(組合員参加人数29名)

◆E&Tファーム
（富山県砺波市増山）

主な生産品：サツマイモの栽培・加工・販売

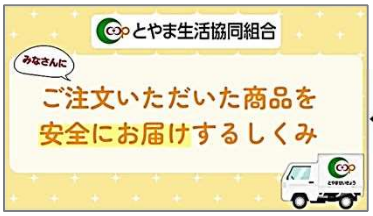
2023年11月4日「産直交流会」にて、産地を訪問し、生産者と交流を行いました。(組合員参加人数47名)

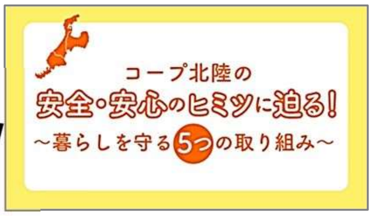
・とやま生協の「商品を安全にお届けするしくみ」を動画でご紹介します

とやま生協では組合員のみなさんに安心して商品をご利用いただくために、食の安全を「フードチェーン(商品の生産・加工から組合員宅の食卓に並ぶまでの一連の流れ)」として捉え、様々な取り組みを行っています。

今回は物流センターから商品がご自宅に届くまでの裏側はどのような流れになっているかを動画にまとめました。QRコードまたはホームページからぜひご覧ください。

また、商品の企画から製造などについては、コープ北陸事業連合を通じて食の安全を守る取り組みを行っています。





「SDGsアンケート」に答えてプレゼントをGETしよう！

SDGs達成に繋がる具体的な消費行動を広げていくために「SDGsアンケート」を実施します！

3つのテーマ(「エシカル消費」「食品ロス削減」「リサイクル活動」)についてのアンケート(10問程度)に回答されると、抽選で1,000名様に**「CO・OPサステナブル商品 カカオ70%チョコレート」**をプレゼントします！

詳細は2/5(月)の週に配布のチラシをご覧ください。ご応募をお待ちしています！

前回3人に2人が当選！

CO・OP サステナブル

森の資源を守る～未来につながる森の循環をめざして～

サステナブルポイント：適切に管理された森林から生産された農林産物や再利用された紙資源を主原料としています。
(持続可能)

レインフォレストマーク：森林の保護、労働者の人権尊重や生活向上、気候危機への緩和と適応など、より持続可能な農業を推進するための包括的な認証制度。

第8回理事会だより　開催日:第8回　2023年12月20日(水)

◇話し合われたこと

(承認事項)
1. 2023年度11月度の事業・活動および経営報告の件
2. 2023年度第3四半期まとめと第4四半期方針の件

(主な協議事項)
1. 2024年度基調方針(1次案)の件

(主な確認事項)
1．2023年度秋のブロック総代会議まとめと課題の件

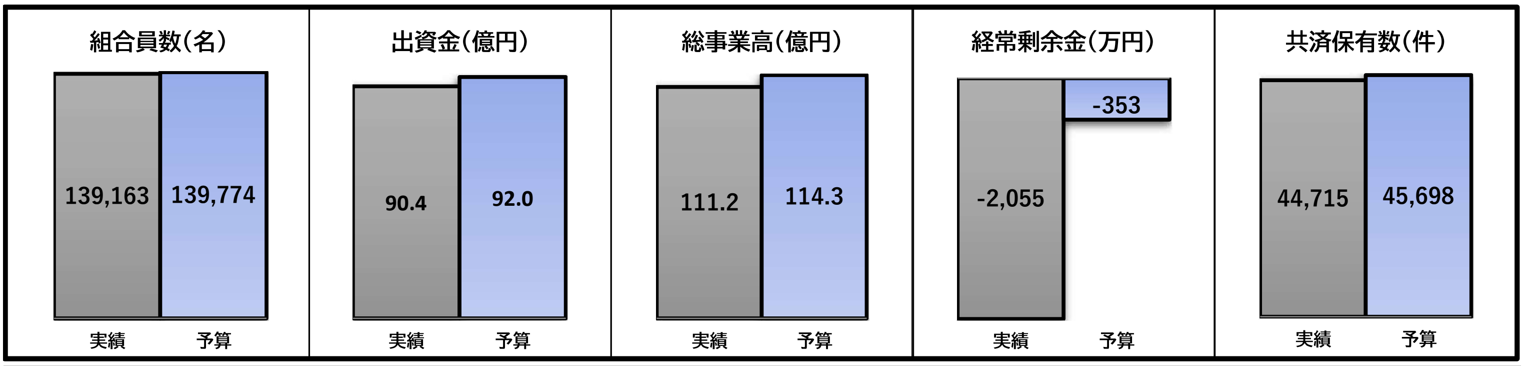
◇11月度　事業・経営報告

(全体経営報告)
・総事業高は14億2,650万円で、予算比 94%、予算差－9,673万円です。
・経常剰余金は－843万円で、予算差－2,349万円の実績です。

(機関運営、組合員活動報告等)
・11月8日～14日にかけて開催した秋のブロック総代会議は126名の参加があり、「2023年度上期のまとめと下期重点課題」の提案と「ブロック役員推薦委員候補者」を確認しました。下期重点課題は4点で「新店舗出店」「商品案内変更の理由と今後の対応」「輝かみいいのの建設」「宅配手数料変更」について提案しました。
・11月1日、富山県に「令和5年7月大雨災害義援金」を贈呈しました。組合員から寄せられた募金3,265,314円の内、富山県へ1,632,657円、赤十字富山県支部へ1,632,657円を寄付しました。
・11月10日、2024年度採用職員の内定式を執り行いました。
・組合員活動参加は、ブロック協議会・委員会に116名、34の地域会で40回・457名、せいきょうクラブ13回で74名の参加がありました。
・主な活動では、迎春試食会に690名、コープでわくわく講座に38名の参加ありました。

◇2023年度　事業・経営実績累計

組合員数	組合員の総数	経常剰余金	事業活動で得た収入とかかった費用に事業外での損益を加えた事業活動による最終利益
出資金	お預かりしている出資金の総額	共済保有件数	ご契約いただいている「たすけあい」「あいぷらす」「ずっとあい」の総数
総事業高	事業高の総額		



11月度事業別実績報告

≪宅配事業≫11月1回から11月5回企画

利用形態		単位	実績	予算比
宅配事業	利用人数計※1	人	302,771	96%
	利用金額※2	円/人	4,766	99%

≪生活支援事業≫11月1回から11月5回企画

利用形態		単位	実績	予算比
生活支援事業	夕食宅配	食数	72,475	96%
	介護療養食	食数	6,025	100%

≪福祉事業≫11月度サービスご利用報告

サービス			実績	予算比
デイ	延べ人数	人	508	82%
ショート			382	88%
障がい者			264	115%
訪問	提供時間	時間	771	95%
小規模	登録人数※3	人	70	101%

※1　11月1回～5回企画の合計利用人数です。
※2　1企画当たりの利用金額です。
※3　利用人数のことです。

≪みなみ店≫11月度

利用形態		単位	実績	予算比
みなみ店	供給高	千円	16,973	110%
	来店人数	人	8,893	107%
移動店舗	供給高	千円	2,344	69%
	来店人数	人	1,513	76%

2023年度福島復興支援視察交流ツアーのご報告

2023年12月1日(金)～2日(土)にかけて福島復興支援 視察交流ツアーを行い、とやま生協の組合員と役職員の計28名が福島を訪問しました。これまで新型コロナウイルス感染症の影響もあり、組合員が参加する形での訪問は4年ぶりとなりました。

この視察交流ツアーは、「東日本大震災を忘れない、風化させない」ために、震災発生後の2012年から行われてきました。現地を訪れて交流することで、被災地ではいま、どのような問題に直面しているかを知り、今後の支援のありかたを考えることが目的です。

そのまま残っている家屋

福島第一原発にほど近い双葉町は、2022年8月30日に避難指示が解除されましたが、ほとんどの住民が帰還できていない状況にあります。

双葉駅前には震災や津波で家屋がそのまま放置されている光景も見てとれました。今なお残る震災の跡に参加者のみなさんも心を痛めておられました。

震災発生からまもなく13年。少しずつ復興が進んでいると感じられる場所もあれば、原発事故の影響が強く残り、復興がままならない場所もまだまだあります。

それでも、福島の人々の「震災前よりももっといい街にしたい」という故郷への強い想いがあったからこそ、ここまで復興が進んできました。

とやま生協はこれからも、その想いに寄り添い、少しでも前に進んでいけるよう支援を続けていきます。

◆参加者の声◆

以前は集落があり美しい田んぼが広がっていた場所も、広大な国営追悼・祈念施設となるそうです。未だに帰還困難区域が存在していることを、私は忘れてしまっていました。
12年も別の場所で暮らしていれば、帰還困難区域を解除されたとしても、いくら故郷であっても、帰るのは難しいと感じました。
全然壊れていない立派な家が放置され、庭は草が茂っていました。
その庭で柚子の実がたわわになっていました。悲しい風景でした。
組合員のみなさんも是非その目で福島の今を見てきていただきたいです。

テレビや新聞で見るのと、実際にその地に足を運んで目やからだで感じるのとでは全く違いました。
訴えかけてくる大きさが、何百倍、何千倍と大きいのです。ひとりでも多くの人に足を運んで見てきてほしいと思います。最近のテレビや新聞では見られない部分がたくさん見られますから。

CO・OP共済が「顧客満足度」3年連続の第1位となりました

2023年11月7日、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が発表した、2023年度JCSI(日本版顧客満足指数)第3回調査 **生命保険部門にてCO・OP共済が顧客満足度第1位**の評価をいただきました。

本調査において**CO・OP共済が第1位を獲得するのは通算8度目、2021年度調査より3年連続**となります。

また、**今回初めて9つの指標**(顧客期待、知覚品質、知覚価値、顧客満足、推奨意向、ロイヤルティ、感動指標、失望指標、CSR指標※1)**すべてで1位の評価**をいただくことができました。

CO・OP共済は、全国の生協職員一人ひとりが組合員の声に耳を傾けながら、その「ねがい」に応えたいという「おもい」を持って業務や活動に取り組み、お役立ちの幅を広げてきました。

今後も組合員の暮らしに寄り添った共済としてご満足いただけるよう、努めてまいります。

※1 企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility ／CSR)とは、法令等の遵守だけではなく、人権、労働等の社会的分野や環境保全に対する配慮等をも含めて、企業がその業務活動の全体を通じて、自主的に社会に対して果たすべき責務のことです。